

## シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科	コース名	ホースプロコース						
科目名	騎乗理論2				必修・選択必修の別	必修			
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	69 時間
	2年	前期	40	時間	後期	29	時間		
担当講師	千葉 千尋								
	実務経験	有	馬術歴15年。 千葉県強化選手認定。馬術県大会や全日本馬術競技会にて入賞経験あり。						
授業概要	指導者となる為の心得、安全対策について理解し、指導者トレーニングにて実践する知識を身につける。騎乗理論1より高度な知識を学び騎乗技術向上に役立てる。						授業形式	講義	
到達目標	乗馬指導者になるための知識を身につける。 より高度な技術知識を学び、騎乗や指導の技術向上に役立てる。 多種馬具の種類や用途を学び、様々な馬に合う道具を選定し調教できる知識を身につける。 自身の騎乗動画（ビデオ）を観る事により自らの欠点を確認し、騎乗技術向上に反映する。								
教科書・教材・服装等	・ LET'S ENJOY RIDING ・ 乗馬教本 ・ HORSE CARE MANUAL								
授業計画時間数	授業内容								
1~3	制御の方法（保定法）								
4~6	毛刈りとトリミング								
7~9	毛刈り（実践）								
10~12	たてがみ・尾の編み方								
13~15	保護肢巻（プロテクティブ・ブーツ）								
16~18	尾と脚部の保護								
19~21	肢巻の巻き方（実践）								
22~24	肢巻の巻き方（実技小テスト）								
25~27	乗馬具 鼻革								
28~30	乗馬具 鞍								
31~33	乗馬具 頭絡と銜								
34~36	乗馬具 頭絡の組み立てとサイズ調整の実践								
37~39	乗馬具 装着の実践								
40~42	乗馬具 手入れ方法								
43~45	乗馬具 まとめ								
46~48	部班運動と号令								
49~51	装蹄見学								
52~54	蹄鉄								
55~57	装蹄手順								
58~60	調馬索運動								
61~63	調馬索運動（トレーニングにおける課題と対策）								
64~66	障害馬術競技の種類								
67~69	障害馬術競技のルール・採点方法								
成績評価方法	・ 出席率					定期試験	○	筆記試験	
	・ 定期試験や小テスト							実技試験	
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない	

成績評価基準	A評価	出席率95%以上・定期試験や小テスト80点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率94～85%以上・定期試験や小テスト79～65点以上・平常点 普通
	C評価	出席率84～75%以上・定期試験や小テスト64～50点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

## シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース		
科目名	ホーステーピング					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。
	2年	前期	14	時間	後期	15	時間	
担当講師	キネシオテーピング協会(青野 菜名)							
	実務経験	有	施術：馬のテーピング、人のテーピング。 講座：馬、人の認定講座、企画講座実績あり。2022年は韓国でのテーピング講座も					
授業概要	競技馬、競走馬、練習馬それぞれに状態にあったタイミングや、どのような手法のテーピングが適切か見立て、施術が出来るように学ぶ。 人のテーピングではキネシオテーピング協会認定のCKTTライセンス取得を目指し対策も授業で行います。馬のテーピングは座学、実技の受講認定証を発					授業形式	講義	
到達目標	人馬の筋肉や皮膚の状態を判断し、適切なテーピングが出来るようになる。CKTTライセンスの取得							
教科書・教材・服装等	キネシオテーピングトレーナー養成講座ワークブック（ebook）ハサミ 講習内容によってはTシャツ短パンが望ましい場合もある。							
授業計画時間数	授業内容							
前期								
1	ebookダウンロード・教材確認・テープ説明							
2	概要・伸縮テープを触ってみる・カットしてみる							
3～11	テキストに沿って実際にテーピングしてみる							
12～13	テーピング・振り返り・CKTTテスト対策							
14	CKTTテスト（前期定期試験に充てる）							
後期								
1	ebookダウンロード・教材確認・テープ説明							
2	概要 ヒト用テープとの違いを感じてみる							
3～13	テキストに沿って実際にテーピングしてみる（実馬を使つての講座が望ましい）							
14	振り返り							
15	ホーステーピング座学・実技まとめテスト							
成績評価方法	・出席率					定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト							実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない
成績評価基準	A評価	出席率100%・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている						
	B評価	出席率99～90%以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率89～80%以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

## シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース		
科目名	乗馬クラブ実務					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。
	2年	前期	26	時間	後期	30	時間	
担当講師	千葉千尋、郷原恵子、鈴木千尋							
	実務経験	有	馬術歴15年。 千葉県強化選手認定。馬術県大会や全日本馬術競技会にて入賞経験あり。					
授業概要	接客、電話対応、施設管理、馬の輸送等、広く業務を経験する。乗馬クラブの様々な業務を経験する事によって、時間内で効率よく動けるよう自分で考えて行動できる能力を身につける。					授業形式	演習	
到達目標	施設整備や備品の修理・作成を一通り経験する。 電話対応や接客のロールプレイを実施し、サービス業としてのマナーや心構えを身につける。 乗馬クラブの様々な業務を経験し、時間を守りながら行動する能力を身につける。							
教科書・教材・服装等	・LET'S ENJOY RIDING ・乗馬教本 ・HORSE CARE MANUAL							
授業計画時間数	授業内容							
1~2	厩舎の清掃、飼料、水の給餌(以下、厩務作業とする)							
3~4	厩務作業、厩舎周りの管理、清掃(側溝、厩舎扉含む)							
5~6	厩務作業、施設環境整備(レストラン、駐車場、教室、蹄洗場、トイレ等)							
7~8	厩務作業、牧柵、移動柵、備品の修理							
9~10	厩務作業、競技会準備、役割分担							
11~12	厩務作業、競技会片付け、馬場整備・道具整理							
13~14	厩務作業、馬衣の洗濯							
15~16	厩務作業、横木、障害物、牧柵のペンキ塗り							
17~18	厩務作業、馬具・馬体ケア道具の名称・用途を理解する							
19~22	厩務作業、道具管理テストの実施の実施							
23~26	厩務作業、前期範囲まとめ・復習							
27~28	厩務作業、引き続き行う(より適切に、より効率よく)							
29~30	厩務作業、競技会準備、役割分担②							
31~32	厩務作業、競技会片付け、馬場整備・道具整理②							
33~34	厩務作業、草刈り等の場内美化							
35~36	厩務作業、競技会遠征の準備、ハコ番の訓練							
37~38	厩務作業、競技会遠征の為の馬輸送、及び競技会心得							
39~40	厩務作業、馬場整備(石拾い、蹄跡ならし、ハロー掛け)							
41~42	厩務作業、競技会準備、役割分担③							
43~44	厩務作業、競技会片付け、馬場整備・道具整理③							
45~46	厩務作業、施設内大掃除							
47~48	厩務作業、接客の心得を学ぶ(お客様対応・電話対応・苦情対応演習)							
49~52	厩務作業、接客テストの実施							
53~56	厩務作業、後期範囲まとめ・復習							
成績評価方法	・出席率					定期試験		筆記試験
	・チェックテストや実技試験						○	実技試験
	・平常点(提出物・授業参加意欲など)							実施しない

成績評価基準	A評価	出席率95%以上・実技試験評価 優れている (90点以上)・平常点 優れている
	B評価	出席率94~85%以上・実技試験評価 普通 (89~80点以上)・平常点 普通
	C評価	出席率84~75%以上・実技試験評価 やや劣る (79~70点以上)・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

## シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース		
科目名	動物管理実習2				必修・選択必修の別			必修
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。
	2年	前期	54	時間	後期	28	時間	
担当講師	千葉千尋、郷原恵子、鈴木千尋							
	実務経験	有	馬術歴15年。 千葉県強化選手認定。馬術県大会や全日本馬術競技会にて入賞経験あり。					
授業概要	1学年で学んだ厩舎管理、馬体ケア、馬運動等を効率良くより適切に行い、馬の個々の給餌量や運動量を正しく判断し実施する能力を身につける。					授業形式	実習	
到達目標	敷地や建物を把握して、馬に適した理想的な構造や必要な厩舎の備品を想像できる能力を身につける。 馬の異常状態を早期発見し、その適切な対処を身につける。 馬の個々の用途や健康状態によって、適切な給餌量や運動量（方法）を見極める判断力を身につける。							
教科書・教材・服装等	・ LET'S ENJOY RIDING ・ 乗馬教本 ・ HORSE CARE MANUAL							
授業計画時間数	授業内容							
1~2	厩舎の清掃 飼料、水の給餌(以下、厩務作業とする)							
3~4	厩務作業、放牧時の注意点を知る、また放牧後の馬体ケアを学ぶ							
5~6	厩務作業、厩舎作業テストの実施①							
7~8	厩務作業、体力テストの実施①							
9~10	厩務作業、馬衣の洗濯							
11~12	厩務作業、調馬索運動							
13~14	厩務作業、馬体ケア道具の手入れ方法							
15~16	厩務作業、馬具(革)の手入れ方法							
17~18	厩務作業、肢巻の脱着方法を学ぶ							
19~20	厩務作業、肢巻の脱着テストの実施							
21~22	厩務作業、呼吸数や体温、脈拍数の測定（年間管理）							
23~24	厩務作業、夏季の馬体ケア方法(全体洗浄、尻尾、たてがみ)							
25~26	厩務作業、引き続き行う(より適切に、より効率よく)							
27~28	厩務作業、厩舎周りの管理、清掃(側溝、厩舎扉等)							
29~30	厩務作業、厩舎作業テストの実施②							
31~32	厩務作業、調馬索運動の復習および歩様チェック							
33~34	厩務作業、蹄鉄の点検、検査							
35~36	厩務作業、環境整備(馬場、パドック、施設周辺)							
37~38	厩務作業、厩舎内大掃除							
39~49	厩務作業、厩舎管理応用							
50~54	厩務作業、前期まとめ							
55~56	厩務作業、馬衣の着せ方、はずし方、管理について							
57~58	厩務作業、毛刈りとトリミングの実施							
59~60	厩務作業、体力テストの実施②							
61~62	厩務作業、厩務作業テストの実施③							
63~64	厩務作業、調馬索運動テストの実施							
65~79	厩務作業、厩舎管理応用							
80~82	厩務作業、後期まとめ							

成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験
	・チェックテストや実技試験			○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）				実施しない
成績評価基準	A評価	出席率95%以上・実技試験評価 優れている（90点以上）・平常点 優れている			
	B評価	出席率94～85%以上・実技試験評価 普通（89～80点以上）・平常点 普通			
	C評価	出席率84～75%以上・実技試験評価 やや劣る（79～70点以上）・平常点 やや劣る			
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合			

## シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース		
科目名	グルーミング実習					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。
	2年	前期	42	時間	後期	39	時間	
担当講師	千葉千尋、郷原恵子、鈴木千尋							
	実務経験	有	馬術歴15年。 千葉県強化選手認定。馬術県大会や全日本馬術競技会にて入賞経験あり。					
授業概要	1学年で学んだ厩舎管理、馬体ケア等を効率良くより適切に行い、馬の健康状態を維持する。馬の健康な状態と異常な状態を見分ける観察眼を養い、その適切な対処や治療を学ぶ。					授業形式	実習	
到達目標	<p>手入れ道具を用途に合わせて正しく使いこなす。</p> <p>馬の個々の馬体、天気、季節によつての正しいケア方法を身につける。</p> <p>馬の異常状態を早期発見し、その適切な対処を身につける。</p> <p>たてがみや尻尾の手入れ、編み込み、馬体の毛刈りなどを実践する。</p>							
教科書・教材・服装等	・LET'S ENJOY RIDING ・乗馬教本 ・HORSE CARE MANUAL							
授業計画時間数	授業内容							
1~3	厩舎の清掃 飼料、水の給餌(以下、厩務作業とする)							
4~6	厩務作業、換毛期の馬体ケア							
7~9	厩務作業、放牧時の注意点、放牧場（パドック）の管理							
10~12	厩務作業、放牧後の馬体ケア							
13~15	厩務作業、馬衣の洗濯							
16~18	厩務作業、馬体検査（発熱・腫脹・疼痛・口腔内・駆虫）							
19~21	厩務作業、呼吸数や体温、脈拍数の測定							
22~24	厩務作業、馬体ケア道具の手入れ方法							
25~27	厩務作業、馬具(革)の手入れ方法							
28~30	厩務作業、季節毎の馬体ケア注意事項（夏季）							
31~33	厩務作業、夏期の馬体ケア(全体洗浄、尻尾、たてがみ)							
34~36	厩務作業、馬体ケアテストの実施							
37~42	前期範囲まとめ・復習							
43~45	厩務作業、引き続き行う(より適切に、より効率よく)							
46~48	厩務作業、厩舎の乾燥・消毒							
49~51	厩務作業、蹄鉄の点検、検査							
52~54	厩務作業、装蹄見学							
55~57	厩務作業、尻尾、たてがみのケア（毛のすき方）							
58~60	厩務作業、尻尾、たてがみのケア（編み込み）							
61~63	厩務作業、トリミング（耳・顔・尾・踵）							
64~66	厩務作業、馬衣の着せ方、はずし方、管理について							
67~69	厩務作業、季節毎の馬体ケア注意事項（冬季）							
70~72	厩務作業、毛刈りの実施							
73~75	厩務作業、馬体ケアテストの実施②							
76~81	後期範囲まとめ・復習							



成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験
	・チェックテストや実技試験			○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）				実施しない
成績評価基準	A評価	出席率95%以上・実技試験評価 優れている（90点以上）・平常点 優れている			
	B評価	出席率94～85%以上・実技試験評価 普通（89～80点以上）・平常点 普通			
	C評価	出席率84～75%以上・実技試験評価 やや劣る（79～70点以上）・平常点 やや劣る			
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合			

## シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース		
科目名	騎乗トレーニング2					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。
	2年	前期	160	時間	後期	168	時間	
担当講師	千葉千尋、郷原恵子、鈴木千尋							
	実務経験	有	馬術歴15年。 千葉県強化選手認定。馬術県大会や全日本馬術競技会にて入賞経験あり。					
授業概要	指導補佐での人馬への対応と騎乗技術と知識の向上。馬の動きを感覚としてとらえる練習。馬術競技会出場・ライセンス取得に向けたトレーニング。					授業形式	実習	
到達目標	馬の馬体構造と動きを理解し、正しい運動を身につける。 馬場馬術、障害馬術の乗り方の違いを理解し、目的に合わせた人馬のトレーニング法を身につける。 競技会に参加し、常に目標を持って技術向上を目指す。 全国乗馬倶楽部振興協会が発行する乗馬技能2級ライセンスを取得する。							
教科書・教材・服装等	・LET'S ENJOY RIDING ・乗馬教本 ・正しい姿勢で乗る ・Real Riding							
授業計画時間数	授業内容							
1~12	指導補佐：馬取扱い時の安全の確保、マナー、配慮について							
13~24	指導補佐：騎乗時の注意点、安全の確保							
25~36	馬上での適切なバランスの確認							
37~48	騎座の正しい位置と使い方							
49~60	馬の従順性について							
61~72	馬の柔軟性について							
73~84	より高度な馬場馬術運動							
85~96	競技会（CRPホースショー）の練習。競技の種類やルールの確認							
97~108	エントリーした競技およびライセンス取得に向け経路練習							
109~120	競技会（CRPホースショー）の参加。使役の実践							
121~132	競技会のビデオ動画鑑賞。各自の反省と今後の目標を確認							
133~144	競技会反省(個別弱点对策)							
145~156	インターンシップ対策							
157~160	前期まとめ							
161~172	地上横木(キャバレッティ)を使用した練習							
173~184	バウンス(連続した低障害)での空中姿勢とバランスの確保							
185~196	低障害での正しい誘導の仕方							
197~208	ジムナスティックを使用した馬の調教							
209~220	馬場馬術と障害飛越の乗り方の違い、馬の動作の確認							
221~232	それぞれの馬の特性に合わせたトレーニング方法と騎乗要領							
233~244	馬の正しい姿勢・運動（3種の歩様）を再確認							
245~256	ハミ受けについて							
257~268	競技会（ホースプロ馬術競技会）練習。競技の種類やルールの確認							
269~280	エントリーした競技およびライセンス取得に向け経路練習							
281~292	競技会（ホースプロ馬術競技会）の参加とその練習。使役の実践							
293~316	進路（就職先）を視野に入れた個別トレーニング							
317~328	2年間の総まとめ							

成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験
	・チェックテストや実技試験、馬術競技会成績			○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）				実施しない
成績評価基準	A評価	出席率95%以上・実技試験評価 優れている（90点以上）・平常点 優れている			
	B評価	出席率94～85%以上・実技試験評価 普通（89～80点以上）・平常点 普通			
	C評価	出席率84～75%以上・実技試験評価 やや劣る（79～70点以上）・平常点 やや劣る			
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合			

## シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース		
科目名	指導者トレーニング					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。
	2年	前期	56	時間	後期	98	時間	
担当講師	千葉千尋、郷原恵子、鈴木千尋							
	実務経験	有	馬術歴15年。 千葉県強化選手認定。馬術県大会や全日本馬術競技会にて入賞経験あり。					
授業概要	指導者の立場で馬体ケア、馬装等を共に行い、人に伝える表現や方法を認識する。初心者の指導を実践で行い、安全性、注意すべき事を理解する。					授業形式	実習	
到達目標	ホースプロ下級生、AIK生徒への指導補佐を行い、安全性、注意事項を理解する。 馬の性質や性格、状態を理解し、ベストな組み合わせや隊列、トレーニング内容を見極める能力を身につける。状況に合わせた号令のかけ方やタイミングを理解する。							
教科書・教材・服装等	・乗馬安全マニュアル ・乗馬指導者の心得と基礎馬学							
授業計画時間数	授業内容							
1~4	馬への近づき方、引き馬、馬体ケアの仕方と注意点の説明、デモンストレーション。							
5~8	厩舎管理。馬房掃除等のデモンストレーションと説明。							
9~12	厩舎管理。飼料づくり等のデモンストレーションと説明。							
13~16	馬の乗り降りの安全管理、引き馬騎乗での補佐。							
17~20	正しい姿勢のアドバイスを行う。馬上体操の指導補佐。調馬索を利用した指導補佐。							
21~24	下乗り及び軽速歩のデモンストレーション。速歩体験の助手として伴走する。							
25~28	号令の理解と実践。馬の状態の把握。軽速歩指導の補佐。							
29~32	軽速歩でのバランスを維持する方法についてアドバイスを行う。							
33~36	部班での指導補佐。馬間隔と注意すべき事、安全の確保について学ぶ。							
37~40	部班での指導補佐。号令についての注意事項について学ぶ。							
41~44	馬の状態の把握と理由を考える。馬上の人とのコミュニケーション。							
45~48	恐怖心を持ったり、身体がカタイ人の対処法を知る。実技検定に向けた指導。							
49~52	馬体の手入れや馬装のチェック。実技検定の観察と反省。							
53~56	前期まとめ							
57~63	馬への近づき方、引き馬、馬体ケアの仕方と注意点の説明、デモンストレーション。							
64~70	馬の乗り降りの安全管理、引き馬騎乗での指導。							
71~77	正しい姿勢のアドバイスを行う。馬上体操の指導。調馬索を利用した指導補佐。							
78~84	下乗り及び軽速歩のデモンストレーション。速歩体験の指導。							
85~91	常歩、停止、回転の号令をかけたタイミングや状況を把握し対処する。							
92~98	軽速歩指導。馬上の人とのコミュニケーション。							
99~105	部班での指導。状況の把握と号令のタイミングをつかむ。							
106~112	指導者としての馬の運動と手順。部班での軽速歩指導。							
113~119	厩舎管理。飼料づくり等のデモンストレーションと説明。部班での軽速歩指導。							
120~126	検定に向けたトレーニングの指導。客観的に評価してみる。状況報告。							
127~133	馬体の手入れや馬装のチェック。実技検定の号令と反省。							
134~140	野外騎乗散策の助手として注意点を認識する。達成度と反省点。							
141~147	指導者トレーニングを終えての感想と反省							
148~154	後期まとめ							

成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験
	・チェックテストや実技試験			○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）				実施しない
成績評価基準	A評価	出席率95%以上・実技試験評価 優れている（90点以上）・平常点 優れている			
	B評価	出席率94～85%以上・実技試験評価 普通（89～80点以上）・平常点 普通			
	C評価	出席率84～75%以上・実技試験評価 やや劣る（79～70点以上）・平常点 やや劣る			
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合			

## シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科	コース名	ホースプロコース							
科目名	業界インターンシップ				必修・選択必修の別	必修				
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	150 時間	
	2年	前期	-	時間	後期	150	時間			
担当講師	各企業様									
	実務経験	有	各企業現場指導者様							
授業概要	動物病院やペットショップ、動物関連施設にてインターンシップを行い、現場のサービスを学ぶ。						授業形式	実習		
到達目標	動物関連企業等で実践業務を学び、知識の向上を図る。									
教科書・教材・服装等	無し									
授業計画時間数	授業内容									
1～150	各企業での施設の見学、各企業の接客ルールやマナーの習得。									
	店舗での実践的な実習。									
	3つの企業をそれぞれ7日間程度インターンシップを行う。									
成績評価方法	・企業担当者による勤務・業務管理を実習手帳上で行う				定期試験					筆記試験
	・レポート提出									実技試験
						○				実施しない
成績評価基準	R評価	100時間以上のインターンシップ実績があること。実習手帳、レポートを提出した者								
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合								

## 2023就職ガイドシラバス（授業計画）

学科名	動物看護科				コース名	ホースプロコース		
科目名	就職ガイド2				必修・選択必修の別			必修
実施期	1年	前期	- 時間	後期	- 時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	20	時間
	2年	前期	14 時間	後期	- 時間			
	3年	前期	- 時間	後期	- 時間			
※1年次合同企業ガイダンス6コマ含む								
担当講師	金澤 のりえ							
	実務経験	無						
授業概要	動植物業界で求められる人材の育成。企業インターンシップや就職活動での必要な知識を身につけ内定へと繋げる。					授業形式	講義	
到達目標	自己分析と企業研究を行い、全員が内定を頂ける様にしていく事を目標とする。							
教科書・教材・服装等	就職活動用ファイル							
授業計画時間数	授業内容							
1 (4/12)	就職室の紹介							
2 (4/18)	就職活動に向けて（内定スケジュール・夏季ISについて）							
3 (4/26)	履歴書の復習(自己PR・志望動機)・採用試験の流れ							
4 (5/9)	企業説明会①							
5 (5/16)	企業説明会②							
6 (5/23)	求人情報の紹介							
7 (5/30)	IS事前準備①							
8 (6/6)	ISを依頼する際の電話の掛け方・ロールプレイング							
9 (6/13)	面接練習・IS事前準備②（実施確認書と注意点）							
10 (6/20)	メールの送り方							
11 (6/27)	夏休み中の就活の取り組み方、IS中の企業からの声かけについて							
12 (7/4)	お礼状の書き方							
13 (7/11)	コースに特化した就活指導							
14 (7/25)	IS心構えとフィールドワーク・レポート提出							
成績評価方法	・出席率				定期試験		筆記試験	
	・期末レポート提出						実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					○	実施しない	
成績評価基準	R評価	出席率80%以上・提出物・平常点 優れている						
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合						

## シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科	コース名	ホースプロコース							
科目名	コミュニケーション			必修・選択必修の別	必修					
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	29	時間
	2年	前期	14	時間	後期	15	時間			
担当講師	荒井 千鶴									
	実務経験	無								
授業概要	社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を学校生活を通じて会得していく。						授業形式	講義		
到達目標	社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。									
教科書・教材・服装等	無し									
授業計画時間数	授業内容									
1	2年次の学校生活について①									
2~3	学校行事についてのディスカッション①									
4~5	学校行事についてのディスカッション②									
6~7	学校行事についてのディスカッション③									
8~9	学校行事についてのディスカッション④									
10~11	学校行事についてのディスカッション⑤									
12~13	学校行事についてのディスカッション⑥									
14~15	学校行事についてのディスカッション⑦									
16~17	学校行事についてのディスカッション⑧									
18~19	学校行事についてのディスカッション⑨									
20~21	学校行事についてのディスカッション⑩									
22~23	学校行事についてのディスカッション⑪									
24~25	学校行事についてのディスカッション⑫									
26	学校行事についてのディスカッション⑬									
27~29	学校行事についてのディスカッション⑭									
成績評価方法	・出席率					定期試験		筆記試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実技試験		
							○	実施しない		
成績評価基準	R評価	出席率80%以上・提出物・平常点 優れている								
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合								